

国名(日本語)	<b>エルサルバドル共和国</b>
国名(英語)	<b>Republic of El Salvador</b>



国名の由来	<p>スペイン語で「救世主」の意味。16世紀スペイン軍がこの地方を占領し砦を築いたとき、神への感謝を込め、砦名を「サン・サルバドル」(聖なる救世主)と名付けたことに由来する。やがて、砦名は地名となり、独立時に国名となった。国名にされるととき、語頭のサンが冠詞エルになった。16世紀にスペインに占領されて以来スペインの植民地。19世紀前半にグアテマラの一部としてスペインの支配を離れ、同時に独立した中米5カ国で中央アメリカ連盟を結成。1841年に分離独立。</p>
国旗の由来	<p>中央の紋章には、自由の女神がかぶり自由のシンボルといわれる赤い「フリギア帽」と、火山と海と虹が描かれている。5本の旗は、中央アメリカ連邦を結成した5カ国の団結を表している。円弧状に書かれている文字は「中央アメリカのエルサルバドル共和国」。上下の青いストライプは太平洋とカリブ海を、中央の白いストライプは平和を表している。</p>
1 面積	21,040平方キロメートル(九州の約半分)
2 人口	約611万人(2014年 世界銀行)
3 首都	サンサルバドル
4 言語	スペイン語
5 宗教	カトリック教
6 豆知識	国民的スポーツとしてサッカーが盛んである。